

2023年度
学校だより
第15号

こころ

牛久第一中学校
令和6年2月2日
文責 校長 本橋和久

1月の校内研修・佐藤学先生を迎えて～1月18日（木）

東京大学名誉教授の佐藤学先生を招聘して校内研修を実施しました。外部講師を年4回招聘するのは、生徒たちの学び様子から学級の様子や個々の生徒の学びの深さ、友だちとの関わり方などを定点観測してもらうこと、その事実から私たちの授業づくりの方向性を確認していただく必要があるからです。午前中は全学級を公開、午後には全員でひとつの授業を参観して、そこから学んだ知見を共有し、自分の授業の質を高めることを目指します。

今回の焦点授業は1年の理科でした。鏡の実験を通して光の性質を学ぶという内容です。生徒たちはグループになって手鏡に全身が映るかどうか確かめました。どんなに離れても全身を映すことは無理だとわかった生徒たちは、配付された方眼紙の上でどれだけの大きさの鏡があれば全身が映るのか探究し始めました。始めの実験が失敗したからこそ（なぜだろう・・・）という問いが生まれ科学的な探究が深まっていきました。

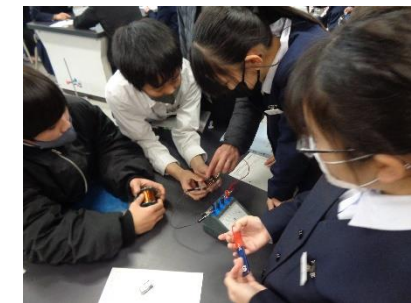
佐藤学先生からは、学びが安定していること、言語の定義や概念を身に付けること、全体で共有するときの授業者の心構えなどについてご指導いただきました。共有すべきは「哲学とヴィジョン」であり、「探究と協働」を中心に授業をデザインするという原点を改めて全員で確認しました。2月・3月の授業もひとつひとつ大切にしていきます。



1年理科「鏡の反射」



手鏡に全身が映るか？



2年理科 電流を流すには？



1年体育 マイムマイム



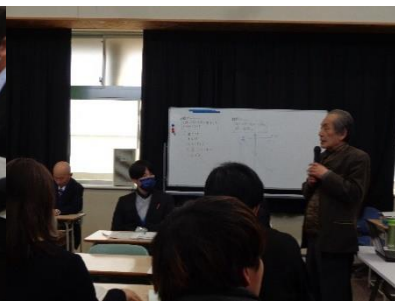
1年家庭 生姜焼きをつくる



2年国語 百人一首現代語訳



県外からの参観者との協議



佐藤学先生の講義

第65回NIEセミナー開催～1月26日（金）

標記のセミナーが1月26日に牛久一中で開催されました。当日は1年社会「脱炭素について考える」、2年英語「同性婚についての意見」3年国語「短歌の批評文」の授業を公開。県内各地からの参観者が、各学年の生徒たちが新聞を教材や資料にして学ぶ姿を参観しました。その後で、授業者の市毛歩先生、太田真輝先生、柳原昌子先生が授業の振り返りを述べ、参観者からのご意見をいただきました。茨城県新聞教育研究会長の折本正巳先生からは、生徒たちが学び合っていること、お互いの発言をよく聴いていること、難しい記事であっても新聞としっかり向き合っていることなど、本校生徒の学び方についての有り難いコメントをいただきました。

NIEコーディネーターで元本校校長の小岩泰規先生からは各授業者に対して、時系列で記事をつなぐ社会科の主権者教育、学んだ英文を記事から見つける英語科の学び、「ハイスクール短歌」を教材にした国語科の授業という視点で講評をいただきました。特にハイスクール短歌を使った授業は初めて見たということで私たちも嬉しく思いました。



1年社会 脱炭素を考える



2年英語 同性婚への意見



3年国語 短歌の批評文

2月の学校生活を大切に！

1・2年生は進級を、3年生は卒業を間近に控えているため今まで以上に大切にしたいのが2月の学校生活です。まずは健康管理。インフルエンザの流行、新型コロナウイルスの再流行の兆しなど、新しい生活様式として定着している手洗い・うがい・換気・黙食などをもう一度確認したいものです。

次に、私たちが一貫して求めてきた他者への「リスペクト」です。卒業を控えた3年生に、一年間共に学んできた級友たちに、お世話になった周囲の方々にとどのようにリスペクトを示したらよいかそれぞれが自分で考える時期です。

もう一つは、一貫して日常の授業を大切にすることです。仲間の発言や先生の話は最後まで聴く、自分の考えと比べながら聴く、どんな発言も尊重するという原点に立ち返り、学年の締めくくりとしての質の高い授業を続けていきましょう。私たちも、教科の専門性を生かして、生徒の皆さんの知的好奇心を刺激するような質の高い課題を提供できるように学び続けていきます。



第三十七回都々逸全国大会 作詞の部 少年の部入選

【宿題句】「世」「界」「平」「和」

きみのなみだが流れる前にみんで願おう平和の世

一人一人が考え合って起こせ行動世のために

二年 小川 悠

三年 丸山弘人

【自由句】

叶えたい夢叶えるために夢に向かってつき進む

一年 坂野 諒

ゆるるスカート瞳の光射止められたの夏の日に

三年 松下 葵